

# 遠隔医療の推進等について

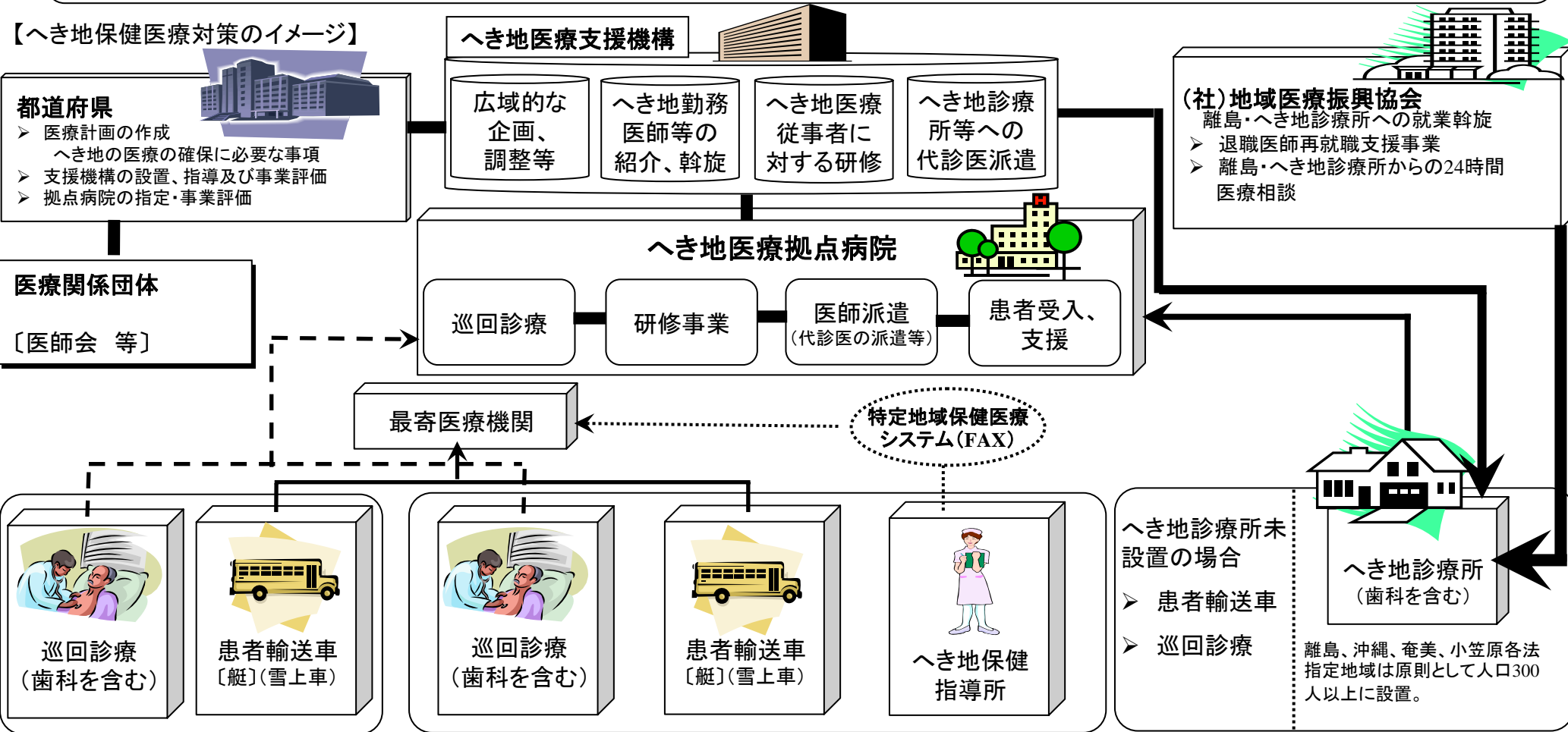
平成20年3月21日  
厚生労働省

# へき地保健医療対策事業【59億円】

山村、離島等の地域において住民の医療の確保を図ることを目的とする。

- (主な施策)
- ・へき地医療支援機構の運営支援
  - ・へき地医療拠点病院、へき地診療所等の運営支援
  - ・巡回診療(車、船、へり)の実施支援
  - ・へき地患者輸送車(艇)の購入支援
  - ・へき地医療情報システムの運営支援
  - ・医療機器等購入、建物整備の支援

## 【へき地保健医療対策のイメージ】



無医地区に準じる地区(人口50人未満)

無医地区(人口50人以上~1,000人未満)

無医地区(人口1,000人以上)

へき地保健医療対策の必要な地区 (半径4Km区域内の人口)

# 遠隔医療の推進について

## (1) 遠隔医療の推進に関する取組み

○これまで、遠隔医療については、医療の質の向上、患者の利便性の向上、離島・へき地などにおける医療の地域差の是正等、地域医療の充実の観点から重要と位置付け、厚生労働科学研究費補助金による研究に対する助成（平成9年度～）、遠隔病理診断（迅速顕微鏡検査）に対する診療報酬上の評価（平成12年）及び遠隔医療のための情報通信機器への補助（平成13年度～）などの施策に取り組んできており、その普及を図っている。

- ※ 厚生労働科学研究費補助金による研究助成 【平成19年度までに、32件、373,499千円】
- ※ 地域医療充実のための遠隔医療補助事業 【平成19年度までに、340医療施設、1,649百万円】
- ※ がん診療連携拠点病院に対する遠隔画像診断支援事業 【平成18年度：91医療施設、702百万円】

## (2) 遠隔医療システムの導入状況

○現在導入済みの遠隔医療システム数3,131件

- ・医療機関間での実施（遠隔画像診断1,743機関、遠隔病理診断420機関）
- ・医療機関と患者居宅間での実施（在宅医療支援968機関）

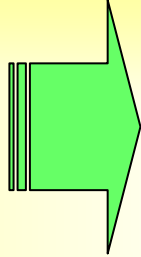
（平成17年厚生労働省「医療施設調査」：平成17年10月1日現在）

# 地域医療の充実のための遠隔医療補助事業

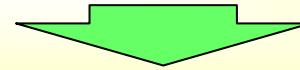
平成20年度概算要求額 853百万円(平成19年度予算額 853百万円)※医療施設等設備整備費補助金の内数

## (現状の課題等)

- 医療の質の向上と効率化
- 医療資源の適正活用
- 医療の地域格差の解消



- 専門性の高い判断や助言の効率的提供
- 限りある人的・物的医療資源を効率よく活用するため医療機関間の連携強化
- 医療過疎地域等では交通インフラが不十分であったり、高齢化・過疎のため受診が困難な慢性疾患患者に対するテレビ電話等を活用した医療支援



## 地域医療の充実のための遠隔医療補助事業による支援

## (事業内容)

情報通信機器を活用することで、病理画像、X線画像等を遠隔地の医療機関に伝送し、専門医の助言による適切な対応を可能とする。

また、医学的管理が必要な慢性疾患であって地理的理由等により往診、通院が困難な患者、がん末期患者、人工呼吸器装着患者等に対し、テレビ電話等の機器を貸与して遠隔地からの医療支援を行う。

